

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月5日(月) 14:30~16:30
- 3 開催場所 岐山高等学校会議室  
開催にあたり、委員による授業(2年生普通科探究活動発表会)見学を実施した
- 4 参加者 委員 河崎 哲嗣 岐阜大学教育学部 数学教育講座 教授  
井關 敦子 岐阜大学医学部 母性看護学 教授  
内田 真樹 長良東民生委員 主任児童委員  
大音師 敦子 本校PTA副会長  
増田 勝美 長良東小学校地区 自治会長 (欠席)  
若井 悟 本校元同窓会長

学校側 石神 政幸 校長  
溝下 肇 教頭  
舘 弘士 教頭  
川口 晋 教務部長  
有賀 浩樹 生徒指導部長  
小森 美穂 進路指導部長 (欠席)  
横山 和哉 教務部副部長(記録係)

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 授業見学を終えて(探究活動について)

(意見1) : 2年生普通科探究活動発表会を見学し、発表はまず相手に伝わる事が大切であるが、身振り手振りを交えるなどボディランゲージを用いた発表は伝わりやすかった。見学していた1年生にも受け継がれていくとよい。楽しみにしている。一方で、質問時間に手を挙げようとする生徒も多く、主体性という観点で課題である。なお、発表にスピーカー付きマイクを使用していたが、聞きとりやすかった。

(意見2) : 「理数探究基礎」の改訂が行われる。全国の先生からの要望で統計が厚くなる。普通科の子達の探究の発表を見たがやはりそこが弱い。アナライザーを呼ぶとよい。どのようなデータをとって、どのような分析をしたらいいかを教えていただける。

(意見3) : 探究活動のテーマは生徒たちが自身で決めているのか。  
⇒自分たち自身で決めるように指導している。

(意見4) : 探究活動のテーマのうち「柳ヶ瀬商店街を復興するには!？」が非常に興味深かった。商店街を立て直すためのお金(設備費)にも踏み込むと一層よくなると思う。

(意見5) : 「炎上行為がなぜ起こるのか」については、その後どうなったかについても言及するとよい。「名づけの傾向と社会の変化」の発表には、聞きに来ていた生徒に関し男女の偏りが目立った。テーマへの新しい切り口を教えてあげられるとよい。

(意見6) : チャットGPTにより文面が簡単に出来てしまう時代であり、新聞を家でとっていないケースも多く、読んで行ってみたくなくなるようなチラシも少ない。新聞を読まない子が多いのも仕方がないことである。しかし、新聞紙は暖を取ったり、火をつけたりするような様々な使い道もある。探究のテーマのヒントがあれば伝えたいと考える。

(2) 本校の「生徒自身に考えさせる取組」について

【スマートフォンの使用について生徒にルールを作らせることについて】

(意見1) : スマートフォンの利用について、生徒は大人が思っているよりもTPOを考えて行動していると思われる。

⇒スマートフォンの利用については生徒にルールを作らせたい。その作られたルールに基づき使用を認めていきたい。

(意見2) : タブレット端末とスマートフォンをどのように使い分けていくか。今後はスマートフォンの使用がさらに多くなり、結果としてタブレット端末は不要になるのではないかと。

⇒タブレット端末は起動に時間がかかる。スマホは禁止しているとトイレの個室で使い始めることがある

⇒例えば保健の授業で「飲酒」「薬物」等について調べさせようとしても、規制がかかってしまう。このような場合、教員が許可をすることによりスマホを使用することが可能になる。

【頭髪・化粧等に係る校則廃止の検討について】

(意見1) : 大学でも看護実習の際には、危険防止や衛生面からマスカラや茶髪を禁止することもあるが。

⇒頭髪・化粧等については、スマートフォンとは異なり、犯罪につながるようなケースはあまりない。また、自由化した期間について検証をすると、学習時間への影響もないと考えられる。5分の1は風紀が乱れたと感じたようである。もちろん、香水などの臭いや洗面所の利用など、他に迷惑をかけることはいけませんが。この状況を踏まえ、頭髪・化粧等に係る校則は撤廃していきたい。

⇒(ピアス可の期間においても) 体育の授業では、安全面からピアスなどを外させた。このように状況による判断の大切さは教えていきたい。また、国際化が進み、周りに生まれながら髪の色が異なる人も増えてくる。時代の流れに合わせていくことも必要である。

(3) 今年度を振り返って

**【教務関係】**

(意見1) : (家庭学習時間調査の結果について) 学習時間が伸びている期間があるが、その理由は、  
⇒定期考査に向けた勉強である。

(意見2) : 高校生のときは放っておいた方が成長するが大学では逆行し、大学生に対しても「手取り足取り」になっている。

(意見3) : 学校はその受け皿で何でも屋になってしまっている。どこまでを学校で引き受けるのか線引きするかを早く考えないといけない。

(意見4) : 近年、サイエンスやテクノロジーだけではどうにもならないことが起こっている。生徒指導では倫理観をやっているが、歴史観はどこでいくのか。例えば数学の公式や法則も、背景を知っているかどうかで生徒に与える影響が異なる。授業の中では、公式や法則の表面だけではなく、それができた背景などの歴史観を盛り込んでいくとよい。

(意見5) : 西洋の教科書では、深く追及している。例えば、英語の教科書でも人権(多様性、薬害、社会問題、男女差別、外国人問題など)を扱っている。日本でも深く追究していければよいのだが。

**【生徒指導関係】**

(意見1) : 学校の動きは世の中の動きに影響されやすい。空気が読めず、友だち関係が希薄になり、他人に無関心になる傾向にある。

(意見2) : 岐阜市では不登校や登校渋りの中学生が増加している。高校も教育相談の負担は大きいと思われる。

(意見3) : ボランティア活動として、どのようなことが行われているか。  
⇒MS リーダーズが中心となり、(美化委員や野球部等も参加し、)地域の清掃活動を行ったり、バス停にて交通安全の呼びかけを行ったりしている。

**【進路指導関係】**

(意見1) : 岐阜大学には関西のからの学生はほとんど来ない。近くに JR の駅が無いため、関西では岐阜大学を受験するように進路指導をしない。岐阜県の子達が岐阜大学に来なくなるとどうなるか興味がある。

(意見2) : 学生の小論文で新聞記事について書かせても、社会への関心がないため、新聞記事以上の発展がない。高校生も新聞を読まないのではないか。忙しいからか。  
⇒新聞を読まない生徒は多い。ネットのニュースの見出しだけを見て済ませている生徒もいる。

(意見3) : 高校の小論文指導の実態は? 指導者は英語、国語、社会の先生に偏っているのではないか。  
⇒英国社に限らず、色々な教科の教員が指導をしている。大人が読んで理解できるような「普通」な文章を書けるように指導している。

(意見4) :面接について、ロボットのような画一的な回答が多い。自分の言葉で生き生きと伝えようとする態度や応用力が大切である。

⇒これは失敗を恐れ、想定した回答を一言一句完璧に覚えてこようとする事によると考えられる。面接は「想定外」が起こりうる緊張感のある会話であることは伝えているのだが。

## 6 会議のまとめ

以下の2点について確認し、合意を得た。

- (1) スマートフォンの使用について生徒にルールを作らせていく。ルールができたなら、そのルールに基づき、使用を認めていく。
- (2) 頭髪・化粧・ピアスについて検討を続けるが、以上に関しての校則は廃止の方向で進めていく。